# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2023. 1 月号

**文殊菩薩像（土屋　大乗院）**

「三人寄れば文殊の知恵」というように、文殊菩薩（もんじゅぼさつ）は智慧（ちえ）をつかさどる仏様で、卯年の守り本尊です。

十二支が干支にちなんだ仏様八尊に配置されており、その仏様を正しくは「一代守り本尊」といいます。自分の干支の各本尊を安置した寺院に参詣することで、心身健康や家内安全、福徳延命などのご利益を授かることができます。

平塚市内では、小鍋島の興淵寺（こうえんじ）や寺田縄の吉祥院（きちじょういん）などで文殊菩薩を安置しています。

**謹賀新年**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また旧年の御恩顧にあらためて感謝申し上げます。

さて、お正月には「初春」「迎春」「新春」という言葉が使われます。季節は真冬なのに、どうして春なのでしょうか？

1 月 13 日から寄贈品コーナーで開催する「カレンダーが変わる !? ～明治改暦 150 年」展で、暦のからくりを解きほぐしますので、ぜひご覧ください。

木々の見通しが良い冬は、野鳥観察に絶好の季節です。先日、庭の立ち木で緑鮮やかなメジロがちょこちょこと動き回っていました。そして、メジロの顔を正面から見たい欲求にかられました。まちがいなく昨夏の特別展「野鳥愛」の影響です。「野鳥愛」のポスターや図録の表紙に描かれた鳥たちの顔のイラストは、すべて正面を向いているのです。

冬の凍てつく夜は星空観察に最適です。ぼんやりと夜空を見上げながら、「この星並びは砂時計の形に見えるぞ」などと悦に入っているのは、私一人だけではないと思います。1 月 15 日まで開催中の秋期特別展「星になった民具たち」の影響です。

「野鳥の顔を正面からじっくり見つめる」「星並びを身近なものになぞらえる」という視点は、従来は意識していないものでした。今までと違う角度でモノを見る楽しさを知っていただくこと、それは博物館が展示やプラネタリウム、講座、出版物、ホームページなどの諸事業を実施する際に心がけていることです。

皆さまにとりまして、博物館との出会いが新たな知の発見につながり、それが日々の暮らしにささやかな潤いをもたらすものになるよう、事業のいっそうの充実を目指して館職員一同、努めてまいります。どうぞ本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

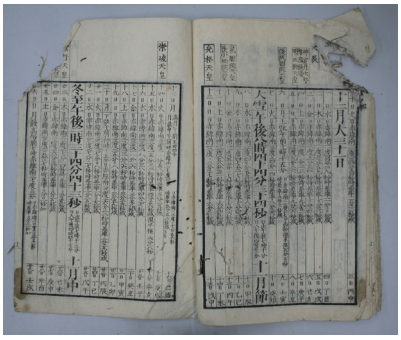
令和 5 年（2023）癸卯　正月
館長　浜野達也

寄贈品コーナー展示

# カレンダーが変わる！？　～明治改暦 150 年

富国強兵・脱亜入欧を進めてきた明治政府は、明治五 (1872) 年にこれまでの太陰太陽暦を廃し太陽暦を導入することを決定。同年十二月二日を明治六 (1873) 年一月一日としました。それから 150 年…これを機に、ふだん何気なく使っている暦＝カレンダーについて、ちょっと考えてみませんか？

本展示では、暦のしくみや歴史を解説しつつ、改暦当時の様子を紹介します。



明治五年暦▶
改暦によって幻となった十二月の箇所

■会　期：2023 年 1 月 13 日（金）～2 月 26 日（日）

情報コーナー展示

# 生きもの調査から見る生物多様性

1 月 13 日（金）～5 月 14 日（日）

## 展示企画：ひらつか生物多様性推進協議会・平塚市環境保全課

私たち「ひらつか生物多様性推進協議会」は、令和元年度～３年度の３年間をかけて市役所環境保全課との協働事業で市内の河川、海岸や、良好な環境が残されている里地里山で、その場所に生息・生育する植物や昆虫、鳥類などの生きものの状況の調査を行いました。その結果は自然環境評価書としてまとめられ、現在平塚市が策定作業をしている平塚市生物多様性アクションプランの基礎資料として活用されています。この展示では、自然環境調査の様子や結果等を通じて、平塚市の生物多様性の状況をお知らせいたします。

調査活動の様子（昆虫）

調査で見つかった指標植物「カマツカ」

# ★1 月のプラネタリウム☆

**★幼児向け投影：**ほしみる おじさん　－みぢかなうちゅうのおはなし－

制作：Astrolab / 原作：もりなお / 原作監修：縣秀彦 ( 国立天文台 )

**投影日：土曜日　午前 11 時～**

**☆一般向け投影：**日本の星を見上げて　～星の和名の春夏秋冬～

**投影日：15 日までの土曜日　午後 2 時～**
**1 月 4 日（水）・1 月 5 日（木）・15 日までの日曜日　午前 11 時～、午後 2 時～**

**☆一般向け投影：2023 年の天文現象**

**投影日：21 日以降の土曜日　午後 2 時～／ 21 日以降の日曜日　午前 11 時～、午後 2 時～**

※ 1 月 8 日(日) には「星空散歩」の、1 月 14 日(土) には「星空の古代史　古墳に描かれた星空」の投影があります。詳細は『あなたと博物館』12 月号をご覧ください。

**1月**

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 |
| 11 時 | | | | | | | |
| 14時 | | | | | | | |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 11 時 | | | ☆ | ☆ | | ★ | ☆ |
| 14時時 | | | ☆ | ☆ | | ☆ | ☆ |
| 15 時 30 分 | | | | | | | ◆ |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 11 時 | | | | | | ★ | ☆ |
| 14時 | | | | | | ☆ | ☆ |
| 15 時 30 分 | | | | | | ◆ | |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 11 時 | | | | | | ★ | ☆ |
| 14時 | | | | | | ☆ | ☆ |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 11 時 | | | | | | ★ | ☆ |
| 14時 | | | | | | ☆ | ☆ |
| | 30 | 31 | | | | | |
| 11 時 | | | | | | | |
| 14時 | | | | | | | |

☆：一般向け投影　★：幼児向け投影　◆特別投影

・定　　員：**50名／自由席(なるべくグループ間は間隔を開けてお座りください)**　**※新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては定員を減らす可能性があります**
・投影日時：右上の表を参照（投影は午前11時～と午後2時～／特別投影は午後3時30分～）　各回50分間
・観 覧 料：200円（18歳未満65歳以上の方は無料／ 65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください）
午前11時の回、午後2時の回、特別投影の**整理券を当日午前9時より受付で配布**(代表者のみでも可、5枚まで)
午前11時の回は午前10時15分から、午後2時の回と特別投影(午後3時30分の回)は午後1時15分から観覧券を販売。
・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始15分前までに３階にお越しください。　・番組の内容は急遽変更になる場合があります。
・**入場前に検温を行っていただきます(平熱より1.0℃以上高い方とそのお連れ様はご入場いただけません)**。・**マスクの着用をお願いします**
・投影開始後のご入場、途中退出はできません

# 平塚郷土史入門講座―家康と平塚―

郷土史の基礎知識を学ぶ講座。大河ドラマ「どうする家康」で注目を集める徳川家康。そこで今年度の平塚郷土史入門講座は徳川家康と平塚の関係に焦点を当てます。

徳川家康の鷹狩の宿泊所として造営された中原御殿。実は戦略的な軍事拠点だった……？ 中原御殿が現代の平塚を作った……？ さまざまな角度から家康と平塚の関係を考えます。

■**日程：第１回　中原御殿に家康の戦略を読む　１月 22 日（日）　講師：栗山雄揮（社会教育課・前博物館長）**
**第２回　中原御殿と近世平塚の幕開け　２月 19 日（日）　講師：早田旅人（当館学芸員）**
**第３回　家康由緒と平塚の地域形成　３月 19 日（日）　講師：早田旅人（当館学芸員）**

■**時間：**各回午前 10 時～午前 11 時 30 分

■**会場：**博物館講堂

■**定員：60 名**（3 回とも参加可能な方／応募多数時は平塚市内在住者を優先して、抽選を行います）

■**申込：**往復はがき、または**博物館ホームページの応募フォーム**にてお申し込みください（下記の QR コードもご利用ください）。往復はがきの場合は、行事名・参加者氏名・住所・電話番号を記入してください（１申し込みにつき２ 名まで）。

■**締切：１月 11 日（水）当日消印有効（WEB フォームの場合は同日中）**

**中原御宮記（当館蔵　市指定文化財）**
天保 14 年（1843）に作成された中原御殿跡地に建てられた東照宮の由来を記した巻物。巻頭に中原御殿跡と中原上宿・下宿を描いた長谷川雪堤による絵が配される。

# 相模川流域ジオツアー入門　「生沢」

「相模川流域ジオツアー入門」は、相模川流域を中心とした地域の地形や地層、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。今回はかつてのプレート境界に堆積した地層や、活断層によってできた地形などを観察します。

■**日時：１月 28 日（土）**午後１時 45 分～午後４時 15 分

■**場所：**生沢バス停～鷹取山南東麓～八坂神社東～生沢バス停

■**定員：15 名**（応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う）

■**申込：**往復はがき、または**博物館ホームページの応募フォーム**にてお申し込みください（下記の QR コードもご利用ください）。往復はがきの場合は、行事名・参加者氏名・住所・電話番号を記入してください（１申し込みにつき２ 名まで）。

■**締切：WEB フォーム：１月 16 日（月）**
**はがき：１月 14 日（土）（当日消印有効）**

新幹線が通る生沢～下吉沢にかけての直線的な谷地形はどうしてできた？

生沢の谷に沿ってみられる粗い砂利からなる地層は、かつてのプレート境界の証拠？

**YouTube HIRAHAKU チャンネル** では、様々な動画を公開中！

YouTube HIRAHAKU チャンネルでは、「博物館モノ語り」や「5 分でわかる平塚学入門」、「だいたい３分でわかる 88 星座図鑑」など様々な動画を公開しています。また、博物館ホームページからも動画をご覧いただけます。

▲YouTube

**行事は右のQRコードから申込ができます。（博物館 HP からも申込できます）**

郷土史入門講座（1月11日（水）まで）　／　ジオツアー（1月16日（月）まで）

# 1月　博物館行事カレンダー ※予定は変更になる場合があります　2月

## 1月

| 日 | 曜 | 印 | 行事 | 会場 | ☆ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | 年始休館 | | |
| 2 | 月 | | 年始休館 | | |
| 3 | 火 | | 年始休館 | | |
| 4 | 水 | | | | ☆ |
| 5 | 木 | ○ | 秋期特別展展示解説会 | 特別展示室 | ☆ |
| | | | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 | |
| 6 | 金 | ○ | 体験学習「星になった民具を使ってみよう」 | 科学教室、屋外 | |
| | | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 7 | 土 | | 東国史跡踏査団 | 野外 | ☆ |
| | | | 天体観察会　流星分科会 | 講堂 | |
| 8 | 日 | ◆ | 星空散歩 | プラネタリウム | ☆ |
| 9 | 月 | | | | |
| 10 | 火 | | 休館 | | |
| 11 | 水 | | | | |
| 12 | 木 | | 石仏を調べる会 | 講堂 | |
| | | | 古代生活実験室 | 科学教室 | |
| 13 | 金 | ○ | 星を見る会 | 屋上 | |
| | | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 14 | 土 | | 祭りばやし研究会 | 科学教室 | ☆ |
| | | ◆ | 星空の古代史 6「古墳に描かれた星空」 | プラネタリウム | |
| 15 | 日 | | 平塚の古代を学ぶ会 | 科学教室 | ☆ |
| | | | 天体観察会　定例会 | 講堂 | |
| 16 | 月 | | 休館 | | |
| 17 | 火 | | 聞き書きの会 | 科学教室 | |
| 18 | 水 | | 裏打ちの会 | 科学教室 | |
| | | | 民俗探訪会 | 講堂 | |
| 19 | 木 | | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 | |
| 20 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 21 | 土 | | | | ☆ |
| 22 | 日 | ○ | 郷土史入門講座 | 講堂 | ☆ |
| | | ◎ | ろばたばなし | 相模の家 | |
| | | | 地球科学野外ゼミ | 講堂 | |
| | | | 天体観察会　天文学分科会 | 講堂 | |
| 23 | 月 | | 休館 | | |
| 24 | 火 | | 天体観察会　太陽分科会 | 講堂 | |
| 25 | 水 | | | | |
| 26 | 木 | | 石仏を調べる会 | 講堂 | |
| 27 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 28 | 土 | ○ | 相模川流域ジオツアー | 野外 | ☆ |
| | | | 地域史研究ゼミ | 特別研究室 | |
| | | | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特別研究室 | |
| 29 | 日 | | 生き物ズームプロジェクト | 野外 | ☆ |
| 30 | 月 | | 休館 | | |
| 31 | 火 | | 月末休館 | | |

- プ：日本の星を見上げて～星の和名の春夏秋冬～（1月15日まで）／2023年の天文現象（2月26日まで）
- 特：星になった民具たち（1月15日まで）
- 寄：「平塚のかたつむり」結果報告！／カレンダーが変わる!?明治改暦150年（2月26日まで）
- 情：生きもの調査から見る生物多様性（5月14日まで）

**1月の休館日：1日(日) ～ 3日(火)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)、31日(火)**

## 2月

| 日 | 曜 | 印 | 行事 | 会場 | ☆ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 水 | | | | |
| 2 | 木 | | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 | |
| | | | 古代生活実験室 | 科学教室 | |
| 3 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 4 | 土 | | 東国史跡踏査団 | 野外 | ☆ |
| | | | 天体観察会　流星分科会 | 講堂 | |
| 5 | 日 | ◆ | 星空散歩 | | ☆ |
| 6 | 月 | | 休館 | | |
| 7 | 火 | | | | |
| 8 | 水 | | | | |
| 9 | 木 | | 石仏を調べる会 | 講堂 | |
| 10 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 11 | 土 | ◎ | 古民家でお囃子を聴こう！ | 相模の家 | ☆ |
| | | | 祭りばやし研究会 | 科学教室 | |
| 12 | 日 | ◎ | 博物館文化祭活動報告会 | 講堂 | ☆ |
| | | | 平塚の古代を学ぶ会 | 科学教室 | |
| | | | 天体観察会　定例会 | 講堂 | |
| 13 | 月 | | 休館 | | |
| 14 | 火 | | 聞き書きの会 | 科学教室 | |
| 15 | 水 | | 裏打ちの会 | 科学教室 | |
| | | | 民俗探訪会 | 野外 | |
| 16 | 木 | | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 | |
| 17 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 18 | 土 | ◎ | 太陽黒点をみよう | 屋上 | ☆ |
| | | | 天体観察会　太陽分科会初心者コース | 講堂 | |
| 19 | 日 | ○ | 郷土史入門講座 | 講堂 | ☆ |
| | | ◎ | ろばたばなし | 相模の家 | |
| | | | 天体観察会　天文学分科会 | 講堂 | |
| 20 | 月 | | 休館 | | |
| 21 | 火 | | 天体観察会　太陽分科会 | 講堂 | |
| 22 | 水 | | | | |
| 23 | 木 | | | | |
| 24 | 金 | | 古文書講読会 | 講堂 | |
| 25 | 土 | | 地域史研究ゼミ | 特別研究室 | ☆ |
| | | | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特別研究室 | |
| 26 | 日 | | 生き物ズームプロジェクト | 野外 | ☆ |
| 27 | 月 | | 休館 | | |
| 28 | 火 | | 月末休館 | | |

- プ：2023年の天文現象（2月26日まで）
- 特：第22回博物館文化祭（2月19日まで）
- 寄：カレンダーが変わる!?明治改暦150年（2月26日まで）
- 情：生きもの調査から見る生物多様性（5月14日まで）

### 【来館のご案内】

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
入 館 料：無料
プラネタリウム観覧料：200 円（減免などの詳細は 2 頁参照）
休 館 日：月曜日（祝日の場合は火曜日に振り替え）
月末日（特別展開催期間や土・日曜日は開館）
年末年始・くん蒸・点検等
その他、予告なく休館する場合もございます。
ご了承ください。

平塚市のＬＩＮＥ、平塚市博物館の Twitter でも情報を随時発信しています。
友達登録、フォローをお願いします。
LINE：平塚市公式 LINE（@hiratsukacity）
Twitter：平塚市博物館【公式】（@hirahaku_）
◀ Twitter

☆：プラネタリウム投影日　○：申込制行事　◎：当日整理券
◆：プラネタリウム特別投影　無印：年間会員制　プ：プラネタリウム一般投影
特：特別展　寄：寄贈品コーナー展示　情：情報コーナー展示

**ご来館の皆様へのお願い**

◎今後の状況により、開館日や行事の予定が変更になる場合があります。
◎新型コロナウィルス感染拡大防止のため、**マスク着用**など咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。
◎展示をご覧の際は、ほかの来館者に手が届かない程度の**距離を保つ**ように心がけてください。
◎展示物に触った後は、**手指消毒をする**ようお願いします。（消毒用アルコールを館内各所に設置しております）
◎以下のような方はご来館をお控えください
・咳や平熱より 1.0℃以上体温の高い方など、風邪のような症状のある方
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
ご協力お願いいたします。

あなたと博物館　50 巻 10 号　通巻 552 号　発行　平塚市博物館　2000
〒 254-0041 平塚市浅間町 12-41　Tel:0463-33-5111　Fax:0463-31-3949　ホームページ　https://www.hirahaku.jp/